

Labo News

らぼニュース

発行所 公益社団法人愛知県臨床検査技師会
 住所 名古屋市中村区名駅5-16-17
 花車ビル南館 〒450-0002
 電話 052-581-1013
 F A X 052-586-5680
 ホームページ <http://www.aichi-amt.or.jp/>
 Eメール aamt@aichi-amt.or.jp
 取引銀行 三菱UFJ銀行 柳橋支店
 普通口座731-677
 発行人 中根生弥
 編集人 武山純也

No.451 目次

- ◆令和2・3年度
愛臨技役員立候補者公募のお知らせ…… (2)
- ◆第37回
愛臨技東三河地区研究会に参加して…… (3)
- ◆基礎講座に参加して(微生物検査研究班)…… (4)
- ◆「第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会
及び国際カンファレンス」に参加して…… (5)
- ◆春日井市健康救急フェスティバルに参加して…… (6)
- ◆地区だより…… (7)
- ◆2019年度日臨技 愛臨技主催
ベッドサイド実践講習会…… (8)
- ◆令和元年度腎臓病に関する講演会…… (9)
- ◆2019年度日臨技中部圏支部研修会
一般検査部門研修会…… (9)
- ◆尾張北地区研修会…… (9)
- ◆尾張西地区研修会…… (10)
- ◆講演会・基礎講座・研究会…… (10)
- ◆2019年度全国「検査と健康展」
ボランティア募集について…… (12)

日本臨床衛生検査技師会より

愛臨技監事 相山 広美

(日本臨床衛生検査技師会 副会長)

令和元年6月22日(土)大森東急REIホテルにて、令和元年度日本臨床衛生検査技師会(以下日臨技)定時総会が開催されました。会員の皆様には、電磁的方法もしくは書面(郵送)による議決権行使をしていただき、愛知県の議決権行使率は77.6%とご協力ありがとうございました。今回の総会において定款改定の議案が決議されました、大きくは二つの改定です。その一つは、入会について「正会員は臨床検査技師免許又は衛生検査技師免許を有することを要し、かつ、各都道府県臨床衛生検査技師会又は各都道府県臨床検査技師会の会員であることを要する」。もう一つは、役員の数人が「理事3名以上56名」となり、各都道府県より理事を1名選出することになります。今回の改定理由は、臨床検査技師を取り巻く医療情勢、働き方改革など、目まぐるしい変化に対応するため迅速な情報提供の必要性が高まり、それには都道府県技師会との連携強化を更に進め、都道府県技師会を通して会員一人一人の意見を集約し、日臨技の事業運営、事業展開に反映していくためです。この定款は、令和元年12月1日から施行されます。

さて、日臨技事業の中で5年目を迎えた検体採取等に関する厚生労働省指定講習会がこの12月末で終了します。令和元年7月末現在の受講者総数は53,797名となりました。愛知県開催は、残り1回(11月31日、12月1日)となります。また、eラーニング事業では、平成30年度から精度管理責任者育成講習会を開始しました。また、施設でまとめて登録することも可能となりました。是非ご利用ください。今後も学術・技術振興、組織強化等の事業を引き続き各都道府県技師会へと展開していきますので、ホームページ等を使い情報をしっかり収集していただきたいと思います。

最後に、令和元年8月30日31日に韓国の平昌にて、第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会が開催され、日臨技代表団を含め50名が参加しました。ポスター発表者35名の中で3名(内2名が愛臨技会員)がポスターアワードを受賞されました(詳細は会報JAMT掲載)。秋には、岐阜で中部圏支部医学検査学会が開催されます。学会に参加することにより情報共有や交流を深めることができ、得るものも大きいと思います。是非多くの会員の皆様に参加いただきたくお願い申し上げます。

令和２・３年度 愛臨技役員立候補者公募のお知らせ

令和２・３年度役員（会長、副会長、監事）の改選にあたり、令和元年９月４日に愛臨技役員推薦委員会を開催し、役員候補者を公募のもとに人選を進めていくことに致しました。立候補予定者は自薦、他薦（本人の承諾が必要）ともに、立候補届出書（各地区役員推薦委員が所有）に必要な事項を記入のうえ、下記の期間内に役員推薦委員までお届け下さい。なお、任期は令和２年度定時総会から令和４年度定時総会までとなります。

記

立候補届出期間：令和元年11月１日（金）から11月29日（金）

役職名：会 長（会長候補理事） １名
副会長（副会長候補理事） ３名
監 事 ２名

なお、立候補者、推薦立候補者のいずれもない場合には、役員推薦委員会で選考致しますのでご承知ください。各地区においては、地区理事１名、役員推薦委員１名を推薦し、令和元年11月29日（金）までに各地区の役員推薦委員まで届けてください。

<役員推薦委員>

地区	氏 名	施設名	TEL	FAX
尾張西地区	中根 一匡	JA愛知厚生連海南病院	0567-65-2511	0587-97-9756
尾張北地区	橋村 正人	名城病院	052-201-5311	052-991-8212
尾張東地区	鈴木 秀幸	公立陶生病院	0561-82-5101	0561-53-8942
尾張南地区	小林 豊子	JCHO中京病院	052-691-7151	052-804-3465
知 多地区	白石 了三	半田市医師会健康管理センター	0569-27-7886	0569-82-6553
西三河地区	井上 正朗	碧南市民病院	0566-48-5050	0565-43-5100
東三河地区	林 紀行	成田記念病院	0532-31-2167	0532-33-6178

第37回 愛臨技東三河地区研究会に参加して

新城市民病院 宇野璃吏子

令和元年7月14日(日)の第37回愛臨技東三河地区研究会に実行委員として参加させていただきました。初めての研究会参加で、実行委員だったこともありとても緊張しましたが、他施設の方にも色々と助けていただき、施設間の交流の大切さを学びました。

一般演題では、演者の先輩方が日々の業務の中で試行錯誤しながら研究した成果を発表している姿をみて、自分自身も発表に挑戦したいと思いました。また、質問に対し活発な意見交換があり、東三河の地域の繋がりの場として各施設の方々の関心の高さを感じました。

公開講演の「膵癌に対する治療戦略－とくに早期発見をめざして」では、健康診断での超音波検査の重要性や、膵癌と糖尿病との関連性についてご講演いただき、早期発見がいかに予後を左右するかということを感じました。検査に携わる医療従事者として、身が引き締まる思いでした。今回の研究会で感じたことを、今後の業務に役立てたいと思います。



基礎講座に参加して（微生物検査研究班）

豊田厚生病院 松本 美咲

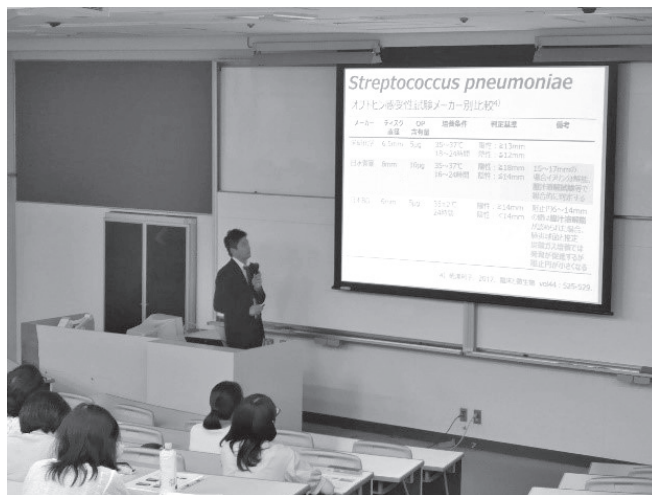
私は今年の4月に微生物検査に配属され、この8月から呼吸器検体を担当しています。呼吸器検体は口腔内常在菌叢の中から起炎菌を検出しなければならない、非常に難しい検査だと感じていました。そんな私にとって、今回の基礎講座のテーマである『呼吸器！微生物検査の基礎を再確認しよう！-その方法本当に正しいですか？-』は非常に興味を引く内容でした。

今回の基礎講座は午前に講義、午後から実習といったスタイルで行われました。

午前中の講義では塗抹や培地等の多くの写真を使用してポイントを掴んだ講義で初心者私でもとてもわかりやすい講義をしていただきました。

午後からの実習では実際に塗抹や培地を見て、午前中の講義で学んだ原因菌検出のポイントや検査の手技を復習することができました。

基礎講座を通して呼吸器検体で主な原因菌の特徴や検査の進め方、普段見ることのできない稀な原因菌の塗抹や培地を見ることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。菌の特徴や検査のポイントはもちろんですが、自分の目を見て、自分の中で感覚を掴んでいく事が検査のポイントではないかと思いました。また、講義の中で「検体の向こうには結果を待っている患者さんや医師がいることを忘れてはならない。」とおっしゃられていたのも印象的でした。ルーチン業務を行っているといつ検体の向こうにいる患者さんの存在を忘れてしまっている私に気付く事ができました。そんな患者さんの為に、正確な結果を出すのはもちろん、迅速に結果を出すことが重要だと再認識しました。そのためには自分の知識を高めていくことが必要不可欠であると改めて感じ、今回学んだことを明日からのルーチン業務に活かしていきたいと思います。今回このような素晴らしい勉強の機会を用意していただきました微生物研究班の先生方にこの場をお借りして感謝申し上げます。



「第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会及び国際カンファレンス」に参加して

今回私は、8月30日(金)と31日(土)に韓国で開催されました、第57回大韓臨床病理士協会総合学術大会及び国際カンファレンス(以下、本学会)に参加しました。本学会は、2018年に冬季オリンピックが開催された地でもある平昌で開催されました。学会会場や宿泊ホテルのある平昌までは、仁川空港からバスで約4時間という長い道のりでしたが、自然豊かで景色もよく、名古屋の蒸し暑さを忘れるような過ごしやすい気候でした。

本学会に参加するにあたり、日本臨床衛生検査技師会に学会参加費や現地での滞在費を支援していただきました。これは若手技師の国際対応力向上を目的として行われた企画ですが、費用面の支援だけではなく、演題登録の代行、学会会場までの移動など、初めて国際学会で発表される方にとっても安心で、全国から31名、愛知県からは4名がポスター発表を行いました。

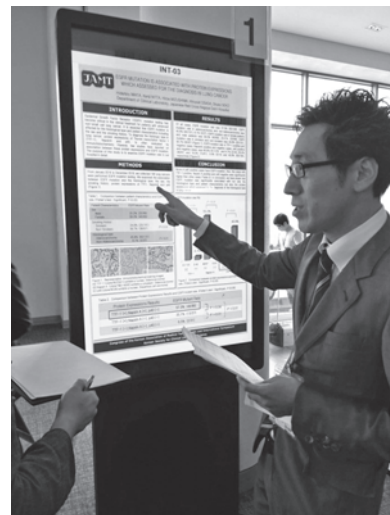
私は『EGFR mutation is associated with protein expressions which assessed for the diagnosis in lung cancer』という演題名でポスター発表をしました。各自の発表時間は3分、質疑応答は2分で、事前に提出したポスターデータをタッチパネルディスプレイにデジタル投影する形で行われました。発表中、特に強調したい部分はタッチパネルを操作して拡大し提示することができました。ポスター作成にあたって、自分の研究成果がより伝わるようにシ

名古屋第二赤十字病院 岩田 英紘
ンプルかつ目を惹く構成を心がけました。その甲斐もあり、大変有難いことにPoster Awardを頂くことができました。他にも名古屋大学医学部附属病院の菊地良介さん、順天堂大学病院の池田葉奈さん、浜松医科大学附属病院の太田悠介さんがPoster Awardを受賞されました。おめでとうございます！愛知県から2名も受賞者が選出されとても嬉しく思います。

本学会に参加して強く感じたことは、若手検査技師の学術活動に対する意識の高さです。発表された方は技師歴5年目前後が多く、彼らは積極的に学会発表や論文執筆に挑戦しています。普段の業務と並行して精力的に学術活動をされていることを知り、非常に刺激を受けました。また、オープニングセレモニーやガラディナー(懇親会)は盛大に開催され、韓国の伝統芸能が披露される中、韓国や台湾からの検査技師と情報交換することで国際交流を深めることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

今回の貴重な経験を、今後の業務や学術活動に活かして参りたいと思います。

最後に、本学会で大変お世話になりました、日臨技事務局および関係者の皆様、そして学会へ快く行かせてくれた職場の同僚と家族に心より深謝いたします。



春日井市健康救急フェスティバルに参加して

知多厚生病院 堀 瑞記

令和元年9月1日(日) 春日井市総合体育館で開催された健康救急フェスティバルに技師会のボランティアとして初めて参加しました。この催しは市民の皆様の健康づくりの知識を広げるとともに救急活動への理解を深めることを目的とし、春日井市主催で毎年開催されています。

今年度は全体で27のブースがあり、愛臨技では超音波検査や採血体験、擬似尿を使った尿検査などの「臨床検査を体験しよう」コーナーを担当し、延べ248名の一般市民の方々に参加していただきました。超音波検査コーナーではフルーツゼリーにプローブを当て、ゼリー内のフルーツがどのように見えるかを、尿検査コーナーでは尿の色の異常の見分け方や、実際の尿検査を体験していただきました。採血体験コーナーでは駆血帯を巻いて見える自分の血管の確認や、模擬腕での採血、採血管への分注作業を体験していただきました。体験された子供達からは、「今度から採血される時は頑張れる」とか「採血するのが楽しい」などの声をいただくことができました。

今回このようなイベントに参加し、日頃自分が行っている検査の説明がいかに難しいかを痛感させられました。今後も患者さんに対して自信をもって検査の説明ができる優しい臨床検査技師を目指して頑張ります。



病院紹介

岡崎市民病院 前田 恵里

岡崎市民病院は地域の中核病院で約700床35の診療科を持っており、岡崎ICをおりて4分の山の上に位置しています。夏の高校野球愛知県大会の決勝戦・準決勝戦が行われる岡崎市民球場（中央総合公園）のすぐ隣です。

山の上のため景色が非常に良く、元気な入院患者さんの中には「病院敷地の外をウォーキングしてきた」とおっしゃっている人もいます。一方で、「病院を出た時にはみぞれまじりの雪だったのに山の下に降りたら雨だった」との山岳地帯かとおっこみとなるエピソードもあります。

さて、2019年4月から愛知県がんセンター愛知病院が岡崎市に移管され、岡崎市立愛知病院となりました（岡崎市立愛知病院は山の下にあります）。

岡崎市民病院で急性期の医療を受けた後、肺炎・脱水等の状態が落ち着いてきてはいるものの通院や

転院が困難な状態の患者さんを受け入れる急性期の中でも軽度な急性期医療を担っています。2023年度までに再編完了を目指しているところです。

都会でもなく田舎過ぎでもない岡崎市は小さな城下町で、歴史のまちでもあります。有名なものは日本100名城にも選定されている岡崎城や八丁味噌でしょうか。最近は夏期限定ですが奥殿陣屋の「フルーツかき氷」も耳にします。

歴史好きの人には大樹寺（「だいじゅじ」ですが市民は「だいじゅうじ」と呼びます）は松平・徳川家の菩提寺で創建1475年、境内の多宝塔は現在、国の重要文化財です。境内から山門・総門を通してはるか南方に岡崎城を見ることができます。（「ビスタライン」と呼ばれています）

歴史も自然も豊かな岡崎へ是非足をお運び下さい。



2019年度 日臨技 愛臨技主催 ベッドサイド実践講習会

国民の医療に対するニーズの多様化・複雑化により臨床検査技師の職域も検査室から外来や病棟へと、より患者の身近な検査業務が求められています。それには、他職種の業務等を学び、多職種連携のチーム医療に積極的に参画することが必要です。このような内容を踏まえ、「ベッドサイド実践講習会」を開催することになりましたので多数のご参加をお願いします。

【日時】 2019年11月30日(土) 15:00～18:20 (14:30から受付)

2019年12月1日(日) 9:00～17:30

【会場】 JA愛知厚生連豊田厚生病院 2階第1会議室

〒470-0396 豊田市浄水町伊保原500-1 TEL: 0565 (43) 5000

【募集人数】 40名

【受講対象】 本講習会開催までに検体採取等に関する厚生労働省指定講習会を受講した者

【参加費】 4000円

【昼食】 各自ご用意ください

【申し込み】 2019年10月14日(月)～11月15日(金) 日臨技ホームページより事前登録してください。1週間以内に受領メールが届かない場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【生涯教育】 基礎: 30点

【後援】 公益社団法人 愛知県医師会、一般社団法人 愛知県病院協会、公益社団法人 愛知県看護協会、一般社団法人 愛知県病院薬剤師会、一般社団法人 愛知県臨床工学技士会、公益社団法人 愛知県理学療法士会 (予定)

【問合せ先】 名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻 病態解析学講座 鈴木博子

TEL: 052-719-1504

メールアドレス: bzk07103@na.commufa.jp

【プログラム】

11月30日(土)

14:30～15:00 受付開始

15:00～15:10 開講式

15:10～15:40 臨床検査技師が他職種業務を知る意義<ビデオ>

15:40～16:40 臨床検査技師が他職種業務を知る意義<講義>

16:50～18:20 【講義1】 知っておくべき薬理

講師: 春日井市民病院 高橋由加利

12月1日(日)

8:30～9:00 受付開始

9:00～11:00 【講義2・実技】 看護職から見た患者心理と家族とのコミュニケーション

講師: 春日井市民病院 佐藤めぐみ

11:15～12:00 検体採取シミュレーション

12:00～13:00 昼食

13:00～15:00 【講義3・実技】 知っておくべきベッドサイド機器管理

講師: 豊田厚生病院 酒出 篤弥

15:15～17:15 【講義4・実技】 知っておくべき患者移送技術

講師: 豊田厚生病院 濱井 均

17:15～17:30 閉講式

令和元年度腎臓病に関する講演会

主 催：臨床一般検査研究会・日本臨床一般検査学会

テ ー マ：腎臓病（CKD）におけるチーム医療
（Medical & co-Medical）の現状を知ろう

日 時：令和元年11月9日（土）14：00～18：30

会 場：リップルスクエア
〒461-0005 名古屋市東桜1丁目1番10号
アーバンネット名古屋ビル20階

募集人数：80名（先着）＊申し込みは下記のメールアドレスに「腎療養」と書き「氏名、所属」を明記して送信下さい。受講番号を返信します。

申 込 先：臨床一般検査研究会：臨床一般腎療養

Mail address：2019jinnzoby@gmail.com

締 切：10月20日（定員になり次第締切ます）

ホームページ：http://ippanken.kenkyukai.jp/

・詳細はホームページでご確認下さい。

内 容：腎臓病（CKD）療養の現状を知るため、
各種医療部門の専門家から講演を聞く。

司 会：藤田医科大学医療科学部 臨床検査学科
星 雅人

1. 最近のCKD対策の現状とチーム医療への期待
JA愛知厚生連安城更生病院
副院長・血液浄化センター長 玉井 宏史
2. 腎臓病の食事療法
名古屋第二赤十字病院 栄養課
（管理栄養士・腎臓病療養指導士） 廣瀬 裕子
3. 腎臓病の薬物療法
宏潤会大同病院 薬剤部 部長
（薬剤師・腎臓病療養指導士） 田中 章郎
4. 尿検査と尿沈渣から分かるCKD
岐阜赤十字病院 検査部
（臨床検査技師・認定一般検査技師）
林 晃司
5. CKDのリハビリテーション
増子記念病院 リハビリテーション科 課長
（理学療法士・腎臓リハビリテーション指導士）
小関 裕二
6. 腎臓病の専門的看護
藤田医科大学病院 看護部

（看護師・腎臓病療養指導士）

後藤百合子

7. ディスカッション

2019年度日臨技中部圏支部研修会 一般検査部門研修会

テ ー マ：見方が変わる

～教科書では教えてくれない一般検査～

日 程：2020年1月11日（土）12：45～

1月12日（日）15：30

会 場：金沢大学附属病院 4階宝ホール

定 員：100名（予定）

受 講 料：会員8,000円、非会員10,000円

申込方法：日臨技ホームページより申し込みください。

申込期間：2019年10月1日～2019年12月10日まで
（予定）

その他、詳細は日臨技ホームページを参照してください。

（http://www.jamt.or.jp/）

尾張北地区研修会

専門教科：20点

日 時：2019年11月20日（水）18：30～20：30

場 所：（株）スズケン名古屋支店 2階会議室

テ ー マ：生殖検査と遺伝子検査

～施設の取り組み～

講 師：1. 「生殖検査への検査技師の関わり」

小牧市民病院 藤田 京子

2. 「がん遺伝子パネル検査」

シスメックス株式会社 高橋 新

3. 「がんゲノム医療中核拠点病院の現場から」

名古屋大学医学部附属病院

服部 光

司 会：春日井市民病院

神野 洋彰

内 容：不妊治療（人工授精や体外受精）に検査技師が携わる事も多く、重要な業務として認識されています。今年リニューアルした小牧市民病院生殖医療センターの取

り組みについてお話しします。また、がん遺伝子パネル検査に関して最新情報と、がんゲノム医療中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院での運用や、検査技師の関わりについてお話しします。多くの参加をお願いいたします。

尾張西地区研修会

基礎教科：20点

日時：2019年12月8日(日) 10:00～12:00

場所：稲沢市民病院2F講堂

テーマ：甲状腺疾患の日常診療

講師：稲沢市民病院

糖尿病・内分泌内科 野村 由夫

司会：稲沢市民病院

木下健次郎

内容：甲状腺に関する検査・検査値の読み方・腫瘍性病変における細胞診について。

講演会

微生物検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年11月9日(土) 15:30～17:30

場所：名古屋大学医学部 基礎研究棟3F 講義室1

テーマ：『微生物検査技師が知っておきたい

感染症診療の基礎知識』

講師：藤田医科大学病院 感染症科

鈴木 大介

司会：名古屋第二赤十字病院

原 祐樹

内容：感染症診療において微生物検査は欠かすことが出来ない検査です。そのため、感染症診療の知識を身につけることは、微生物検査の質をさらに高めるために非常に重要であると言えます。今回の講演会では「微生物検査技師が知っておきたい感染症診療の基礎知識」をテーマに感染症科の医師より講演をしていただきます。ぜひこの機会に感染症診療について学んでいただき、微生物検査のレベルの1upにつなげてもらいたいと思います。多くの方の参加をお待ちしております。

講演会

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年11月16日(土) 15:00～17:00

場所：名古屋市立大学医学部研究棟11階
講義室A

テーマ：術中モニタリングの基礎と臨床

講師：1. 術中モニタリングの各種モダリティについて

半田市立半田病院 西脇 啓太

2. 脊椎手術と術中モニタリング

一脊椎外科医からみた治療戦略—

名古屋大学医学部整形外科

小林 和克

司会：名古屋大学医学部附属病院 榎原久美子

内容：術中モニタリング業務は、手術室において迅速かつ冷静な判断が求められます。それに応えるためには、ノイズの発生しやすい特殊な環境において、神経の活動電位や脳波などの変化を正確に判定する能力が必要になります。今回は手術チームの一員として必要な知識や各種モニタリングの特徴、脊椎外科医の視点からの治療戦略について講演していただきます。明日からのモニタリングに役立つ様々な知識を身につけましょう。

基礎講座

生理検査研究班

専門教科：20点

日時：2019年12月8日(日) 9:00～16:00

場所：JA愛知厚生連豊田厚生病院
2階講義室A・B・C

豊田市浄水町伊保原500-1

テーマ：初心者集まれ！

始めよう腹部超音波検査

講義1：超音波の基礎、胆嚢・胆道

地域医療機能推進機構中京病院

加藤 鮎美

講義2：脾臓

愛知医科大学病院

淀川 千尋

講義3：肝臓

JA愛知厚生連豊田厚生病院 藤田 啓介

講義 4：腎臓・脾臓

名古屋大学医学部附属病院 笹木 優賢

ランチョンセミナー：

「病変の捉え方とチェックポイント」

藤田医科大学医療科学部 刑部 恵介

司 会：JA愛知厚生連江南厚生病院 柴田 康孝

内 容：腹部超音波検査初心者向けのハンズオンです。超音波の基礎を皮切りに、肝臓、胆嚢、胆道、膵臓、腎臓、脾臓の解剖・描出方法・評価方法など幅広く実践向け講義を企画しております。ランチョンセミナーでは、病変の描出・撮像ポイントをわかりやすく解説していただきます。講義後のハンズオンでは、今後の検査業務に活かせるよう実技講師がサポートします。多数の参加をお待ちしております。

対 象：腹部超音波検査をこれから始める方、始めたばかりの方。

申込方法：日臨技ホームページ会員メニューの「事前参加申込」から行事を選択し、事前登録を行ってください。

※備考欄に腹部超音波検査の経験歴を入力してください。

申込期限：2019年10月7日(月)～11月8日(金)

*但し、定員になり次第締切りとさせていただきます。また初心者の方の受講を優先させていただくため、同一施設からの多数の参加はご遠慮ください。

定 員：60名

参 加 費：愛臨技会員 5,000円

他県技師会会員 5,500円

非会員 7,000円

(弁当代1,000円を含みます)

*受付完了後、開催日の1週間前までに受領メールでお知らせします。受領メールが届かない場合は「問合せ先」のアドレスまでご連絡ください。

問合せ先：地域医療機能推進機構中京病院

加藤 鮎美 s541141@yahoo.co.jp

研 究 会

輸血検査研究班

専門教科：20点

日 時：2019年11月16日(土) 15:00～17:00

場 所：愛知医科大学病院 C棟202講義室

テ ー マ：血液型異常反応

～その時あなたはどのようにしますか？～

講 義：血液型異常反応について

愛知県がんセンター

早川 英樹

症例検討：医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院

磯部 勇太

JA愛知厚生連 江南厚生病院

市川 潤

春日井市民病院

田中 裕士

司 会：藤田医科大学病院

杉浦 緑

内 容：ABO血液型およびRhD血液型検査は、輸血前に行われる重要な検査です。今回は、日当直でも遭遇する機会の多い「血液型異常反応」について扱います。血液型検査でオモテ・ウラ不一致や部分凝集となった場合、どのように検査を進めていけば良いのか？結果の報告はどうしたら良いのか？など、困った経験がある方は多いと思います。血液型異常反応の原因と対応について講義の後、3つの症例で検討します。いろいろな異常反応と実際の検査の進め方を一緒に考えながら、分かりやすく解説します。多くのご参加をお待ちしております。



2019年9月10日現在 正会員数 3,455名

2019年度 全国「検査と健康展」ボランティア募集について

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会は、臨床検査についての正しい知識とその普及・啓発を行うことを目的に、毎年11月を「臨床検査と健康・普及啓発月間」と定め、平成25年度より、全国「検査と健康展」を都道府県技師会と共に全国展開しています。本年度の愛臨技におきましては下記の要領で開催することになりました。

つきましては、愛臨技会員から参加者の受付や案内などのボランティアを募集致します。是非ともご協力をお願いいたします。

【検査と健康展 開催概要】

日 時：2019年11月17日(日) 10:00 ~ 15:00

(集合時間 8:30 予定)

場 所：イオンモール熱田 1F イベントスペース
名古屋市熱田区六野一丁目2番11号
金山総合駅から南東に徒歩約15分です

事業内容：①臨床検査紹介・検査体験コーナー

- ・臨床検査技師業務紹介
- ・検査体験
- ・超音波検査を使ったデモ
- ・臨床検査に関するクイズ

②衛生及び検査に関わる指導や実技

- ・無料検査(骨密度、血管年齢等)
- ・臨床検査技師による健康アドバイス

主 催：一般社団法人日本臨床衛生検査技師会、公益社団法人愛知県臨床検査技師会

共 催：日本臨床検査専門医会、臨床検査振興協議会

後 援：厚生労働省、日本医師会、日本看護協会、日本病院会、全日本病院協会、日本臨床検査医学会、日本臨床検査薬協会、日本臨床検査薬卸連合会、日本衛生検査所協会



【ボランティア 募集概要】

募集要項：10人程度、交通費及び食費支給、事前会議(1回を予定)

申込方法：愛知県臨床検査技師会ホームページより登録となります。

申込方法：①会員番号②氏名③施設名(自宅会員は住所および電話番号)

④メールアドレス

生涯教育履修点数：基礎教科 20点

申込締切：2019年10月25日(金)

問い合わせ先：〒470-1192 豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

藤田医科大学 医療科学部

刑部 恵介 (オサカベ ケイスケ)

TEL: 0562-93-9430

E-mail: kosakabe@fujita-hu.ac.jp